

会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度あま市防災会議
開 催 日 時	平成29年2月23日(木) 午後3時から午後3時55分まで
開 催 場 所	あま市役所本庁舎3階 特別会議室
議 題	あま市地域防災計画(案)について
会 議 資 料	あま市防災会議次第 あま市地域防災計画(案)の修正要旨 あま市地域防災計画新旧対照表 あま市地域防災計画(案) あま市国民保護計画の修正要旨
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍 聴 人 の 数 (公開した場合)	1人
出 席 委 員	村上浩司、荻田篤史、小出春夫、早川安広、松永裕和、石田隆義、平野雄治、福田學、藤井定彦、原田信一、原敦司、山田篤司、竹内均、木村一、富田悦充、渡邊剛、井村なを子、塚本都、山田章博、阪口嘉成、郷利彦、埜本一徳、青木啓
欠 席 委 員	なし
事 務 局	(総務部) 吉川部長 (安全安心課) 中山課長、水野係長、後藤主査、吉川主査

会議録（要旨）

- 1 会長あいさつ
- 2 委員の委嘱について
- 3 あま市地域防災計画（案）について

●事務局

あま市地域防災計画の修正（案）要旨を説明

【質疑応答】

○委員

地域防災計画の中に防災という文言と減災という文言が多数出てくるが、それぞれ意味合いはどちらがうのか？

●事務局

防災は、災害を防ぐものであり、例として、堤防の整備や地面のかさ上げ等があります。減災とは、災害を減らすものであり、例として、耐震補強や家具固定等であると考えております。

○委員

防災とか減災という言葉にとらわれずに、市としても対応をお願いしたい。

●事務局

市としても文言にとらわれず、対策等を行い、被害を最小限にとどめることができるよう対応していきたい。

○委員

災害弱者と言われる方々について、防災訓練等に参加できていないように思われるが、市としてどう対応していくのか？

●事務局

要配慮者の方々につきましては、今年度、避難行動要支援者名簿を作成することとしております。来年度には、個別計画を策定し、避難行動について検討していきたい。また、市防災訓練の参加については、検討を重ねているものの実現にはいたっていない。来年度も関係機関と連携をとり、実現に向け検討を重ねていきたい。

○委員

要配慮者の対策は、担当課任せではなく、市全体で考えていくべきである。災害時には、隣近所でも助け合わないといけない。市としてどうしていくのか。

●事務局

現在作成している名簿について、来年度、自主防災会にも周知する予定である。ただし、名簿は個人情報であり、取扱いには注意が必要となり、その点についても担当課と調整をしていきたい。

●会長

ふれあいミーティングにおいて、お願いしているのは、地域にお住まいの身体の不自由な方や一人暮らしの高齢者の方を把握していただき、災害時には助け合うことをお願いしている。また、区長等が名簿を所有するのは負担が多いので、防災BOX等を活用できないか検討している。

○委員

市の備蓄に関して、東日本大震災の際、水が不足する中、乳児に対して、海外から液体ミルクが寄附され、非常に喜ばれたとあった。市としても対応は考えているのか。

●事務局

液体ミルクが有効であったことは認識している。また、国内においても製造が可能となる見込みではあるが、現在の国内メーカーにおいて製造を行う予定はないと聞いている。液体ミルクは、保存期間は約1年であり、また、粉ミルクよりも高価なため、市としては、粉ミルクを備蓄している。また、今年度は、新たに殺菌済の使い捨て哺乳瓶の備蓄をすることとした。

○委員

様々な場所で防災活動を啓発しているが、なかなか浸透していかないが、市は今回作成した市地域防災計画をどのように市民へ周知していくのか。

●事務局

本日の会議資料については、会議録を作成後、市ホームページにて掲載する予定である。また、地域防災計画の修正版については、準備が出来次第、市ホームページにて公開する予定である。

また、耐震補強や家具固定など、防災に関わる情報については、その都度、広報紙、ホームページ、出前講座等において、啓発していきたい。

【計画の修正について】

委員全員の賛成により、原案のとおり決定

4 その他

(1) あま市国民保護計画の軽微な修正について

●事務局

あま市国民保護計画の修正要旨（平成28年度）を説明

(2) その他

特になし